済生館　新病院整備のポイント　～こんな病院を目指します～

『健康医療先進都市の未来を創る拠点病院として』

現病院 → **新病院**

安心で居心地の良い快適な病院

＜**病室**＞
６床室が大半

→
- **４床室と１床室**による**快適**な病室
- 面会者や付添者にも**ゆとり**ある病室

＜**個室率**＞
約17%（90床）

→
- **40%（180床）程度**の個室の確保

- 待合や会計の混雑
- 次に向かう検査場所や相談窓口等の病院案内が**わかりにくい**

→
- **わかりやすい案内表示**
- **院内の移動の効率化、短縮化**
- 自動精算機の導入等による受付・会計の**混雑緩和**
- 受診から入退院まで総合的なサポートを行う**患者サポートセンター**の新設

- 廊下の幅が狭く、車いす等が**通りにくい**
- 診察室等で、患者等に対する**プライバシーへの配慮**
- 廊下や待合スペース、病棟等の**暗いイメージ**

→
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン
- **プライバシー**に十分配慮した診察室
- **明るくリラックスできる**廊下や待合スペース、病棟

最新の医療ニーズに応える病院

＜救急部門＞
- 診察や処置のスペースが狭く、部屋数も少ない
- 救急車の患者搬入時の**渋滞発生**

→
- **十分なスペース・部屋数**の患者待合や診察室・処置室
- 救急の**診察・処置までの時間短縮**
- **複数の救急車**受入れによる、迅速で効率的な救急受入体制
  →「**断らない救急**」の機能強化

＜手術部門＞
- 手術室のスペースが狭く、**最新機器が導入しにくい**

→
- **最新機器等を積極導入**し、**ロボット手術等にも対応可能な最先端の手術室**

＜感染対応＞
- スペースが限られ、感染患者対応**エリアの明確な分離に苦心**

→
- 明確に分離された**感染患者対応エリアの確保**
- 感染拡大時に**専用病棟・外来等を確保**できる柔軟な院内構造